

「男女共同参画」「多様性」
って何だろう？



費用
無料



男女共生センターが出前授業 次世代スクールプロジェクト

～男女共同参画・多様性理解の学びを支援します！～

性別に関わらず「自分らしく」生きるために、また、生きられる社会をつくるためには、若い世代に男女共同参画(ジェンダー平等)や多様性について学ぶ機会が必要です。

しかし、そのための準備の時間がなかなか捻出できない、あるいは、そのために教職員に研修の機会が欲しいと思っている先生方は多いのではないのでしょうか？

このプロジェクトでは、福島県男女共生センターの職員や外部講師が、各学校・団体の要望に応じて、授業をカスタマイズして実施します。

これまで平成29年度より延べ177校・団体、約16,000名に授業を行ってきました。ぜひお気軽にお問い合わせください。

対象

県内の小・中義務教育学校、高等学校、特別支援学校、専門学校、大学、そのほか教育関係団体(養護教諭部会など)

実施数

25校・団体(うち「ライフデザイン」は5校程度) ※予定

テーマ例

〈男女共同参画関連〉

- ・男女共同参画入門
- ・性別にとらわれない職業選択
- ・デートDV
- ・ハラスメント
- ・ライフデザイン※外部講師との連携

〈多様性理解関連〉

- ・多様な性
- ・「違い」を認め合う

複数テーマの組み合わせや、その他の希望テーマの実施も可能です。

形態

- ・当センター職員(県派遣教員)による授業
- ・実施校教員との連携による授業
- ・外部講師との連携による授業



次世代スクールプロジェクトHP



お申込み
お問い合わせ

福島県男女共生センター

〒964-0904 二本松市郭内1丁目196-1

月曜
休館



0243-23-8304 (事業課直通)

<https://www.f-miraikan.or.jp/>

次世代スクールプロジェクト

令和6年度実施校一覧(実施順)

次世代スクールプロジェクト事業									ライフデザインセミナー事業(R7より統合)					
校種等	実施校・団体	実施テーマ	実施学年等	講師	校種等	実施校・団体	実施テーマ	実施学年等	講師	校種等	実施校	実施テーマ	実施学年等	外部講師
小学校	豊間小学校	多様な性	3～6年生	津田理恵	高等学校	田村高校	多様な性	全校生	専門学校	今泉服飾専門学校	人生のハンドルを握り、自分の物語を描く	全学年	鷲谷恭子氏	
	瀬上小学校	多様な性	教職員			平工業高校	男女共同参画・デートDV・多様な性	全校生			郡山ヘアメイクカレッジ	男女共同参画と事例紹介	1年生	横尾恵美氏
	野田小学校	多様な性	5年生			いわき光洋高校	多様な性	教職員		高等	福島工業高等専門学校	男女共同参画と事例紹介	4年生	横尾恵美氏
	小名浜東小学校	多様な性	教職員			聖光学院高校	男女共同参画・多様な性	1年生		大学	福島大学	人生のハンドルを握り、自分の物語を描く	2年生	鷲谷恭子氏
中学校	川俣中学校	男女共同参画・多様な性	2年生			安達高校	男女共同参画・性別にとられない進路選択	1・2年生	津田理恵	福島学院大学	ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画	1年生	横田智史氏	
	白沢中学校	多様な性	3年生			会津工業高校	ハラスメント	3年生			○実施単位は学校によって様々です。 選択授業、学級、学年、全校対象など、人数に合わせて実施します。 ○実施単位や実態に応じて、ワークを取り入れてほしい等のご相談にも対応いたします。 ○外部講師による「ライフデザイン」は専門学校や短大、大学等以上を想定しています。			
	小名浜第二中学校	多様な性	全校生			白河実業高校	多様な性	1年生						
	本宮第二中学校	男女共同参画・多様な性	3年生			二本松実業高校	多様な性	1年生						
	昭和中学校	学校教育と男女共同参画	教職員			福島工業高校	男女共同参画・多様な性	2年生						
	磐崎中学校	多様な性	1年生		教育団体	福島県教育センター	学校教育と男女共同参画	初任者研修						
	小野中学校	多様な性	1年生			福島市学校給食研究会 栄養士部会	男女共同参画・多様な性	—						
	福島第二中学校	多様な性	2年生			福島県県南高校教頭会	多様な性	—						
						福島県学校保健会 養護教諭部会	多様な性	—						
			福島県人材派遣センター			多様な性	進路アドバイザー							

授業を受けた感想(抜粋)



自分はこれでいいんだ…と、ちゃんとわかりました。これからはちゃんと自分でいたいです。(小学生)

性別にはいろいろあって、女性・男性ではなく、自分のままでいいというのがすごく分かりました。(小学生)



「普通」という考え方はなく、一人ひとりが自由で安心して生活できる環境が大事だと思った。(中学生)

自分がこんなに「女は…」「男は…」という考えを持っていることに自覚がなかったので驚いた。(中学生)



DVの基準や性別のグラデーションの話を聞いて、多様性や線引きについて知れて良かったです。(高校生)

自分がハラスメントをしている、されているの自認のために知識が必要なことなんだなと思いました。(高校生)



講師のこれまでのキャリアで感じた様々なことを知れて、私でもこれからの課題や価値観の大切さなどを知ることができました。(専門学校生)

女性だから男性だからという偏見を他人に押し付けたり、自分で諦めたりするのはよくないなと思いました。(高校生)



隠れたカリキュラムとして生徒の可能性を狭めないよう、学校のいろいろな場面でジェンダー平等を見直し、改善していきたい。(教職員)

自分自身の将来について漠然としたイメージしか持っていなかったので、自分はどう生きたいのか考える機会になりました。(大学生)

